

共立 液体用コンテナ 金属製/ポリエチレン製 KCD型 運搬容器

タフネスがIBC容器の生命です……………タフテナ®

—— 業界一の納入実績を誇る UN/危険物/毒劇物対応コンテナです。——



COMPLIANCE

共立物流システムは
IBC 容器の
コーディネーターです。



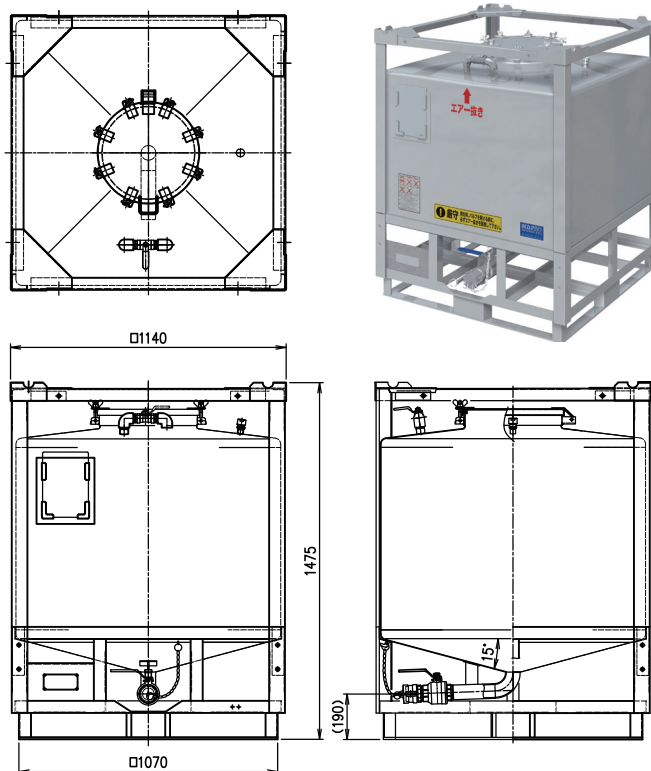
日本初
複合IBC容器、UN取得!!
(ランニング)

株式会社 共立物流システム

金属製 IBC 容器(液体用・容器等級Ⅱ)仕様

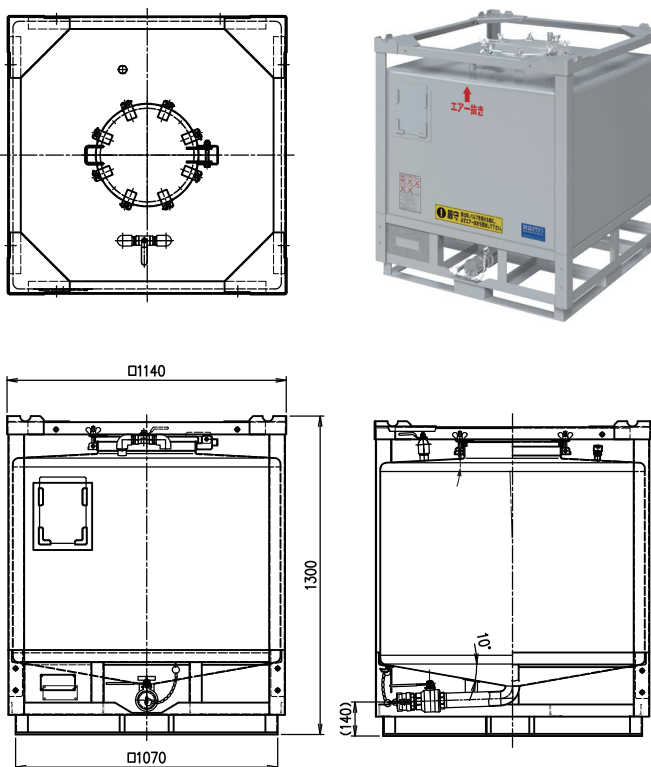
KCD-V15-SSS(Y)-1000L(標準) | UN 対応品

外寸法	□1140×1475mmH	
タンク容量	公称 1000 リットル(比重 1.5 以下)	
製品重量	約 220kg	
タンク材質	本体 : t2.5 SUS304(316)・2B	
枠材質	標準-S	SUS304
	準標準-Y	SS400+溶融亜鉛メッキ
マンホール	φ400(8 点締 SUS 製ハッチ蓋 +□15 ガasket付)	
エア一口	25A バルブ付ベント管	
安全弁	15A/+30kPa(複動 25A/-10kPa/+30kPa)	
排出口	50A ボールバルブ(SCS)+F(SCS)+DC(SCS-鎖付)	
ガasket	EPDM・PTFE 包(FPM/CR/Si/NBR)	



KCD-V10-SSS(Y)-1000L(低床) | UN 対応品

外寸法	□1140×1300mmH	
タンク容量	公称 1000 リットル(比重 1.5 以下)	
製品重量	約 215kg	
タンク材質	本体 : t2.5 SUS304(316)・2B	
枠材質	標準-S	SUS304
	準標準-Y	SS400+溶融亜鉛メッキ
マンホール	φ400(8 点締 SUS 製ハッチ蓋 +□15 ガasket付)	
エア一口	25A バルブ付ベント管	
安全弁	15A/+30kPa(複動 25A/-10kPa/+30kPa)	
排出口	50A ボールバルブ(SCS)+F(SCS)+DC(SCS-鎖付)	
ガasket	EPDM・PTFE 包(FPM/CR/Si/NBR)	

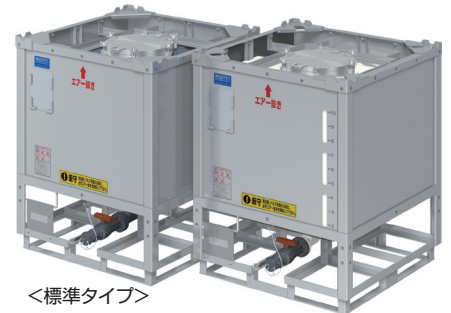
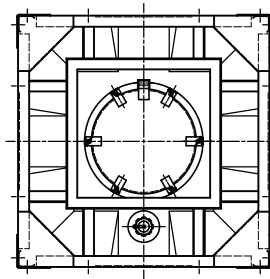


※仕様は製品の改良に伴って、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

ポリエチレン製内容器付 複合 IBC 容器(液体用・容器等級Ⅱ)仕様

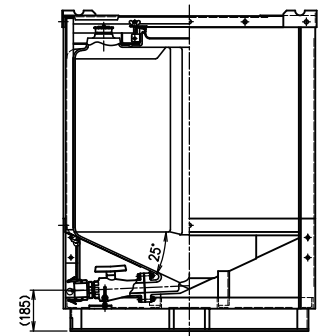
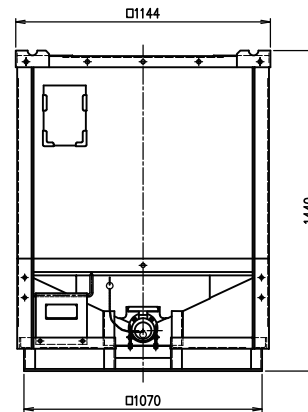
KCD-V25-FHY(S) | UN 対応品

外寸法	□1144×1440mmH		
タンク容量	公称 1000(900)リットル(比重 1.5 以下)		
製品自重	約 245kg		
タンク材質	標準	中密度 PE	回転成形・2層 内面:ナチュラル・外面:グレー
	シースルー		回転成形・1層 ナチュラル
枠材質	標準-Y	本体：SS400+溶融亜鉛メッキ 側板：溶融亜鉛メッキ鋼板	
	準標準-S	本体：SUS304・側板：t1.5 SUS304	
マンホール	φ400(6点締 SUS 製ハッチ蓋 + 内蓋・Oリング付)		
エアーク	50A ネジキャップ(内径φ40)		
安全弁	なし(UN 品は、ガス抜きキャップ)		
排出口	50A ボールバルブ(PVC)+F(PP)+DC(PP- 鎖付)		
ガスケット	EPDM / FPM / NBR / CR / Si / IIR / PTFE		



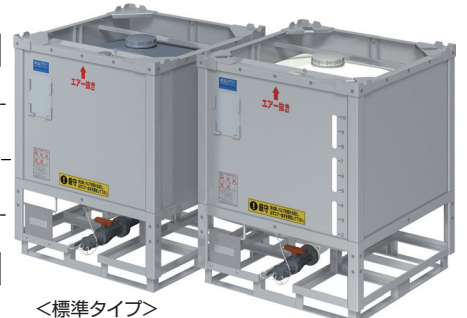
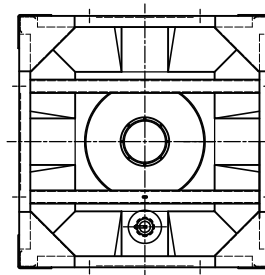
<標準タイプ>

<シースルータイプ>



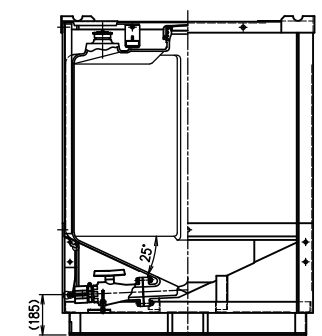
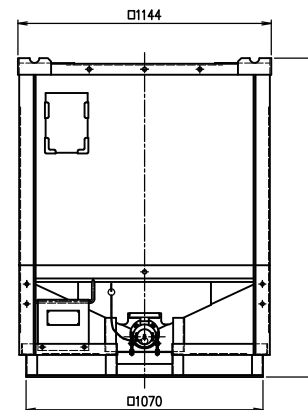
KCD-V25-FWY(S) | UN 非対応品

外寸法	□1144×1440mmH		
タンク容量	公称 1000(900)リットル(比重 1.5 以下)		
製品自重	約 235kg		
タンク材質	標準	中密度 PE	回転成形・1層グレー
	シースルー		回転成形・1層 ナチュラル
枠材質	標準-Y	本体：SS400+溶融亜鉛メッキ 側板：溶融亜鉛メッキ鋼板	
	準標準-S	本体：SUS304・側板：t1.5 SUS304	
ハンドホール	φ150ネジキャップ+ガスケット(成型品)付		
エアーク	50A ネジキャップ(内径φ40)		
安全弁	なし		
排出口	50A ボールバルブ(PVC)+F(PP)+DC(PP- 鎖付)		
ガスケット	EPDM / FPM / NBR / CR / Si / IIR / PTFE		



<標準タイプ>

<シースルータイプ>



ポリエチレン製内容器付 複合IBC容器注意事項

- UN規格・毒劇物法での運用は、SDS・HKのプラスチック材料に対する影響評価試験・成績表が必要です。
- 製造から5年以上経過した容器は、使用できません。
- 消防法では、55度の温度における運搬容器内のゲージ圧力が65kPaを超える液体の危険物または、第4類の危険物(引火点が0℃未満のもの)は、収納出来ません。

1 危険物・毒劇物容器の選定手順

容器の決定方法・関連法規

運送する物質の性状

輸送経路の確認

危険物に該当する

危険物に該当しない



UN 対応品

消防法対応品

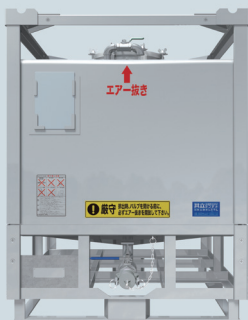
毒劇物対応品

一般コンテナ

輸 送 区 分	日 本 国 内			輸 出
	陸上輸送及び貯蔵		海上輸送	海上輸送
監 督 官 庁	総務省・消防庁	厚生労働省・医薬局	国土交通省・海事局	IMO 国際海事機関
法 令	消防法	毒物及び劇物取締法	船舶安全法	IMDG Code
規 則 ・ 告 示	危険物の規制に関する規則 危険物の規制に関する技術上の基準細目を定める告示	毒物及び劇物取締法施行令 毒物及び劇物取締法施行規則	危険物船舶運送及び貯蔵規則	国際海上危険物規定 国際容器記号(UN マーク)
法 的 位 置 づ け	義 務		強 制	
承 認 機 関	自主検査		日本舶用品検定協会(HK)	

2 IBC 容器の設計・型式試験

① 外観検査



型式認定書類に基づき、相違なきこと。
(形状・寸法・材質・付属品等)

② 振動試験



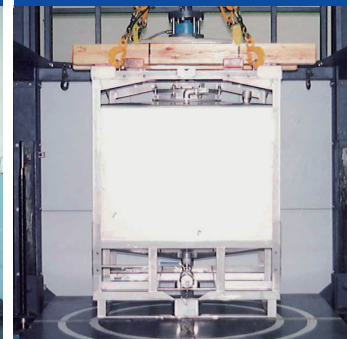
最大容量98%の水を充填し、垂直正弦波25mm±5%の2倍振幅×1時間を負荷、いかなる内容物の漏れ・破裂・破損損傷なきこと。

③ 底部持上げ試験



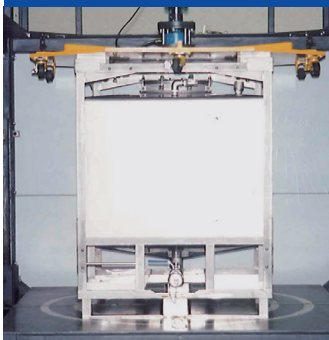
最大許容総重量の1.25倍荷重×持上/着地(×75%フォーク差込)2回繰返、パレット部に永久歪みがなく漏れなきこと。

④ 頂部吊上げ試験



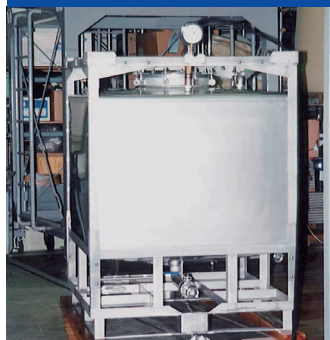
最大許容総重量の2倍荷重×5分間(金属4点吊/複合(対角)2点吊)保持、フレーム部に永久歪みがなく漏れなきこと。

⑤ 積み重ね試験



最大許容総重量の1.8倍荷重×5分間(複合IBC容器は、24時間)保持、フレーム部に永久歪みがなく漏れなきこと。

⑥ 気密試験



ゲージ圧力20kPa×10分間保持、空気漏れがないこと。

⑦ 水圧試験



(金属容器のみ)
ゲージ圧力65kPa×10分間保持、安全な運用を阻害する歪み/漏れなきこと。
ゲージ圧力200kPa×10分間保持、(プラスチック製IBC容器は、100kPa)漏れがないこと。

⑧ 落下試験



最大容量98%の水を充填し、落下高さ1.5m垂直落下。
(容器等級II×比重1.5迄)
複合IBC容器は、-18℃に冷却。漏れなきこと。

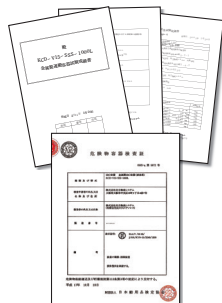
* 複合 IBC 容器は、樹脂の調質(灯油・硝酸・酢酸×6 ヶ月)を本試験前に実施したものを、試験検体として使用します。

3 初回検査（出荷時）→ 4 中間検査（2.5年毎）→ 5 定期点検（5年毎）

- 危険物の規制に関する規則第 43 条 3 項第 2 号の規定／厚生省毒物及び劇物の運搬容器に関する基準の規定により、運搬容器の 2.5 年毎の定期点検が義務付けられています。
- 自主点検ですので、法規に基づいた安全運用を願います。

- 複合 IBC 容器は、製造から 5 年以上経過した容器は使用できません。
- UN 対応品は、日本舶用品検定協会への申請が必要です。
- 以下、一般的な危険物運搬容器の定期点検作業の手順です。

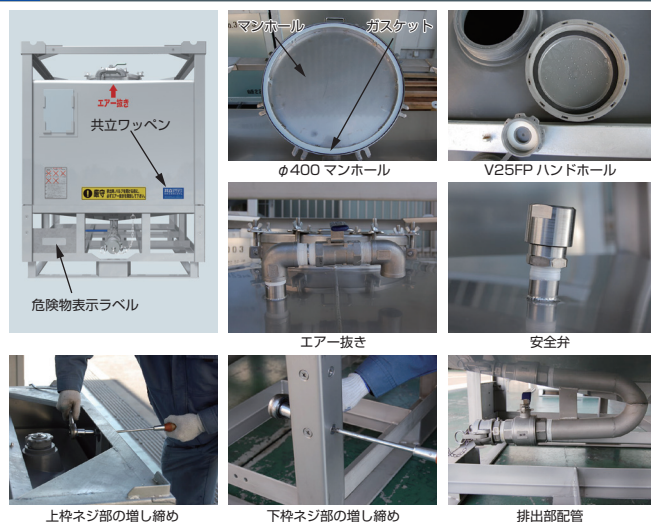
1 書類の確認



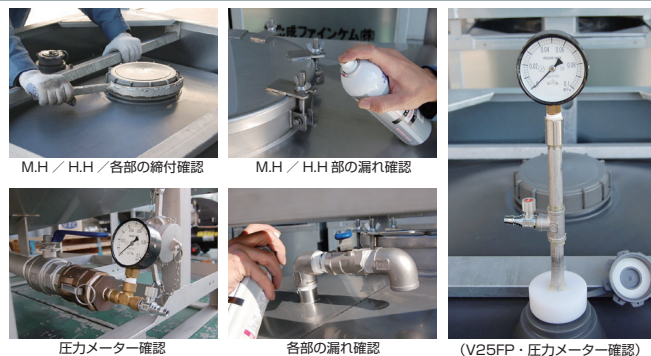
2 部品と工具の確認



3 外観検査



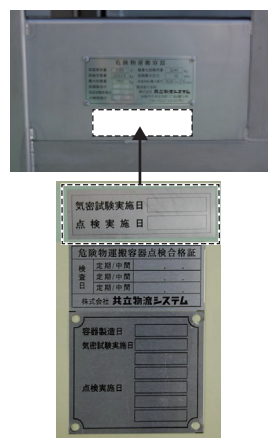
4 気密検査



5 検査成績書への記録

検査項目	検査結果	検査者	検査日
外観検査			
気密試験			
安全弁の作動確認			
容器内部の点検			
点検済みラベルの貼付			

6 検査済みラベルの貼付



準備

- ☐ 危険物容器検査証の有・無 確認。
- ☐ 容器有効期限の確認。
 - ・危険物容器の定期点検試験成績書に記載。
 - ・前回点検実施日から 2.5 年まで。（猶予期間なし。）
- ☐ 点検工具一式。
 - ・コンプレッサー／圧力計アタッチメント（Max-100kPa 圧力計）／No.3 プラス・ドライバー／13mm ソケット／めがねレンチ／パイプレンチ／ガス漏れ検知液／他。
- ☐ 点検検査成績書・記録用紙準備。
- ☐ 検査済みラベルの準備。

点検実施

- ☐ 危険物容器検査証に基づき、書類記載番号と容器の照合確認。
- ☐ 外観損傷・欠損部品がないこと。
- ☐ 液漏れの有無確認。
- ☐ M.H 締付けボルトの焼き付。
- ☐ M.H ガasket の損傷確認。
- ☐ バルブハンドルの開閉確認。
- ☐ 安全弁の分解・洗浄。
- ☐ ねじ込み配管の緩みの確認。
- ☐ ビスの増し締め・欠損部の追加・修理。
- ☐ 20kPa の気密試験、10 分間漏れなきこと。
 - ・気密漏れは、ガス漏れ検知液等で場所を特定し、増し締め等適切に処理願います。
 - ・特に、M.H ガasket 部からの漏れが多く、早めの交換をお勧めします。
 - ・気密検査は、危険作業です。十二分の安全対策願います。
- ☐ 安全弁の作動確認。
- ☐ 運搬容器内部の点検。（5 年毎）
 - ・タンク内の完全洗浄必要です。
 - ・タンク内の腐食・亀裂有無確認です。
 - ・タンク内作業は、酸欠・換気・監視人等、ご配慮願います。
- ☐ 定期点検検査成績書への記録。
 - ・点検日／点検者／外部点検及び付属機器・点検の合格／気密試験の合格／容器内部の点検合格。
- ☐ 検査済みラベルの記入・コンテナへの貼付け。
 - ・気密試験実施日／点検実施日。

耐食性データ

※本資料は一般の材質選定に対する指針を示すものであって、材質に対する保証ではありません。

	薬品名	SUS		PE	PVC	PP
		304	316			
ア	亜塩素酸ナトリウム	×	×		●10%	●
	アクリル酸エチル	●	●	●		●
	アクリル酸メチル	●	●	●		●(20℃)
	アクリロニトリル	●	●	×		●(70℃)
	アセトン	●	●	×	×	●(23℃)
	アニリン	●	●(100℃)	×	×	▲(23℃)
イ	アンモニア水	●(100℃)	●(100℃)	●(60℃)	●(60℃)	●
	イソプロピルアルコール	●	●	●	●(40℃)	●
エ	イソプロピルエーテル	●	●	●		●
	エチルアルコール	●(100℃)100%	●(100℃)100%	●(24℃)10%	●(60℃)	●(25℃)10%
				×		
	エチレングリコール	●	●	●	●(60℃)	●(85℃)
	塩化第二鉄	×	×	●	●(60℃)	●(60℃)
	塩化ベンゼン	●	●	×	×	×
	塩化メチル	●	●		×	▲
	塩化リチウム			●		●
	塩酸	15%	×	×	●(60℃)	●(65℃)
		38%	×	×	●(60℃)	●(65℃)
	塩酸	5%	×	×	×	×
	塩素					
	塩素酸カリウム	water	×	×	●	●
	塩素酸カルシウム	●(100℃)	●(100℃)	●	●	●
	塩素酸ソーダ	▲	▲	●	●(60℃)	●
オ	王水	×	×	●	●(60℃)	●
カ	オリーブ油	●	×	×		●(25℃)
	過塩素酸	●	●	×	●(70℃)	●
	過塩素酸アンモニウム	●(100℃)10%	●(100℃)10%	●(60℃)76%	●(60℃)76%	●(70℃)76%
	過塩素酸カリウム	●10%	●(100℃)10%	●(60℃)	●(60℃)	
	過塩素酸ナトリウム	●(100℃)10%	●(100℃)10%	●(60℃)	●(60℃)	
	過酸化水素	30%	●(100℃)	●(100℃)	●(60℃)	●
		dil	●(30℃)	●(30℃)	●(20℃)	▲(85℃)
	過酸化バリウム	10%	●(95℃)	●(95℃)		
キ	ガソリン	精製	●	●	×	×
	蟻酸			×	×	×
	キシレン	▲	▲	●	×	●(85℃)
ク	揮発油	●	●	×	×	▲
	グリセリン	100%	●	●	●(60℃)	●(60℃)
	クレオソート(油)	●	●	●	●(100℃)	●
	クレゾール	▲(hot)	▲(hot)	×		
	クロム酸	▲(100℃)10%	▲(20℃)50%	▲(20℃)50%	●(40℃)	●(20℃)
		▲(20℃)50%	×	×	●(50℃)50%	×
	クロロスルホン酸	▲	▲(30℃)	×	●(22℃)	×
	クロロホルム	●	●	●(20℃)	×	●(23℃)
	クロロベンジクロライド	●	●	×		×
ケ	軽油	●	●	●	●	●
	ケトン(各種)	●	●	×	×	×
	ケロシン(灯油)	●	●	×	●(60℃)	●(25℃)
コ	原油	●	●	×	●	●
	鉱油(石油)	●	●	×	●	●
サ	混酸	>15%	×	×		
	酢酸	20%	●	●	●(40℃)	●(80℃)
		100%	▲	●	×	▲
	酢酸エチル	●	●	×	×	●(20℃)
	サリチル酸メチル		●			
	三塩化アンチモン		×	●	●(60℃)	●
シ	三塩化砒酸	10%	×	×	×	●(70℃)
	次亜塩素酸	×	×	×	●	▲
	次亜塩素酸カリウム		×	●		
	次亜塩素酸ナトリウム	▲5%	▲5%	●(20℃)10%	●(20℃)10%	▲(25℃)10%
	シアン化水素酸	●	●	●	●	●
	シアン化銅	●	●	●	●(60℃)	●
	ジイゼル燃料	●	●			
	ジイソブチルケトン	●	●			
	ジイソブチレン	●	●			●
	ジエチルアミン	●	●		×	▲(20℃)
	ジエチルセロソルブ	●	●			
	ジエチルベンゼン	●	●	▲		▲
	ジエチレングリコール	●	●	●	●(40℃)	●
	ジエレントリアミン	●	●			▲

	薬品名	SUS		PE	PVC	PP
		304	316			
	四塩化炭素	●	●	×	▲	×
	シクロヘキサノール	●	●	×	×	●
	シクロヘキサン	●	●	×		×
	ジクロロエチレン	●	●			▲
	ジクロロベンゼン	●	●			●
	ジブチルフタレート	●	●	×		●(100℃)
	写真現像液	●(20℃)	●	●	●(60℃)	●
	写真定着液	×	×	●	●(60℃)	●
	臭化水素酸	50%	×	●	●	×
	修酸	dil	●	●	●	●
		conc	×	×	●	●
	修酸アンモニウム		●	●		●
	修酸ナトリウム		●	●		●
	臭素水	water	×	×		●(26℃)
	重亜硫酸ナトリウム	●	●	●	●(60℃)	●
	重クロム酸カリウム	●25%	●25%	●	●(60℃)	●(85℃)
	潤滑油	●	●			
	次硫酸ナトリウム	●	●			
	硝酸	10%	●(100℃)	●(24℃)	●(23℃)	●(25℃)
	硝酸銀	10%		●	●(60℃)	●(85℃)
ス	水酸化カリウム	5~50%	●(80℃)	●(60℃)	●(60℃)	●(60℃)
	水酸化ナトリウム	dil	▲	●(60℃)	●(60℃)	●(100℃)
		conc	●(130℃)	●(130℃)	●(70℃)	●(60℃)
テ	ステアリン酸	●	●	●	●	●(85℃)
ト	デカリン	●	●			×
	テレピン油	●	●	×		▲
	トリエタノールアミン	●	●	×	●(60℃)	●(100℃)
	トリクロールエチレン			×	×	×
	トリメチルアミン	●	●	×	●(60℃)	●
	トルエン	●	●	×	×	●(60℃)
ナ	ナフサ(揮発油)(石油系)	●	●	×	●(60℃)	●(25℃)
	ナフタリン・スルホン酸	●(20℃)	●(20℃)			
ニ	二塩化プロピレン	●	●			×
	二臭化エチレン	●	●	×		
ハ	ニトロベンゼン	●	●	×	×	●(70℃)
ヒ	パークレン	●	●	×		×
	ヒドラジン	●	●	×		×
	ヒマシ油	●	●	●		●
フ	フェノール	●	●		×	●(70℃)
	フォルムアルデヒド	●	●	●	●(60℃)	▲(85℃)
	ブタノール	●	●	▲	●(60℃)	●(85℃)
	弗化水素酸	×	×	●(30℃)	×	▲(25℃)
	フルフルアルコール	●	●			●(70℃)
	プロパノール	●	●	●	●(60℃)	●(85℃)
	プロピオン酸	●	●			
ヘ	ヘキシルアルコール	●	●	▲	●(60℃)	●(20℃)
	ヘキサミン	●	●	×	●(22℃)	×
	ペンズアルデヒド	●	●	×	×	▲(85℃)
	ベンゼン	●	●	×	×	●(60℃)
メ	メチルアミン	●	●	●		●
	メチルアルコール	dil	●	●	●(60℃)	●(85℃)
		conc	×	×	●(60℃)	●(20℃)
	メチルアルデヒド	40%	●	●		
	メチルイソブチルケトン(MIBK)	●	●	×		×
	メチルエチルケトン(MEK)	●	●	×	×	▲(70℃)
	メチルクロロフォルム	●	●			▲
	各種メッキ液	●	×	●	●	●(85℃)
モ	モノエタノールアミン	●	●	●		●
ラ	ラック	●	●			
リ	硫化合物廃液	●	●	●		●
	硫	5%	●(20℃)	●(20℃)	●(60℃)	●(60℃)
		50%	×	×	▲(50℃)	▲(50℃)
		98%	●(20℃)	●(20℃)	●(50℃)	▲(55℃)
	硫酸アンモニウム	●	●	●	●(60℃)	
	硫酸ジメチル	●	●			▲
	硫酸水素ナトリウム	飽和	▲	▲	●	●(55℃)
	硫酸第二水銀	●	●	●	●(60℃)	●
	硫酸銅	飽和	▲	▲	●(60℃)	●(55℃)
	硫酸バリウム	●	●	●	●(60℃)	●(85℃)
	燐酸	dil	●	●	●(60℃)	●(60℃)

● 使用可能。▲ 使用しない方が無難である。× 使用できない。dil: 希薄溶液 conc: 濃縮溶液

共立
物流機器

株式会社 共立物流システム

本社 大阪市中央区瓦町1-6-10 JPBビル
大阪営業所 電話 大阪(06)6227-0210(代)〒541-0048
ファクシミリ 大阪(06)6227-0219
東京営業所 東京都中央区日本橋小伝馬町15-18
電話 東京(03)5695-0951(代)〒103-0001
ファクシミリ 東京(03)5695-0954
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13 名興中駒ビル
電話 名古屋(052)218-2087(代)〒460-0003
ファクシミリ 名古屋(052)222-9400

お問合せ先

